

平成 30 年度山形県計画に関する
事後評価
【医療分】

(令和 2 年度実施分)

令和 3 年 11 月

山形県

3. 事業の実施状況

事業の区分	4. 医療従事者の確保に関する事業	
事業名	【No.5（医療分）】 地域医療支援センター運営事業	【総事業費】 6,512 千円
事業の対象となる区域	村山区域、最上区域、置賜区域、庄内区域	
事業の実施主体	山形県、山形県医師会、山形大学医学部 等	
事業の期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	人口10万人対医師数は全国平均を下回っており、医師不足解消に向けた対策が必要。 アウトカム指標：人口10万人対医師数239.8人（全国258.8人）（H30年）→全国平均以上（R2年）	
事業の内容（当初計画）	地域医療に従事する医師のキャリア形成の支援と一体的に、医師不足病院への医師の配置等を行うための地域医療支援センター運営事業として、下記の事業を実施する。 ・県医師修学資金の貸与 ・医師少数区域等への代診医派遣 ・医学生・研修医に対する情報提供 ・地域医療実習の開催 ・定年退職医師等活用事業 他	
アウトプット指標（当初の目標値）	・代診医派遣・斡旋回数：延べ266人（H30）→延べ266人以上（R2） ・県医師修学資金新規貸与者数：30人（R1）→30人以上（R2）	
アウトプット指標（達成値）	・代診医派遣・斡旋回数：延べ266人（H30）→延べ440人（R2） ・県医師修学資金新規貸与者数：30人（R1）→24人（R2）	
事業の有効性・効率性	アウトカム指標：人口10万人対医師数239.8人（全国258.8人）（H30年）→全国平均以上（R2年） ※令和2年度の数値が公表されていないため、代替指標を設定 医師少数区域等への医師派遣決定数33人（R1）→43人（R2） （1）事業の有効性 山大医学部をはじめとする関係機関と県の連携・協力体制が一層深まった。 臨床研修医の県内定着率は約8割前後であり、臨床研修医マッチング者数を増やすことが、県内の医師数の増加に繋がっている。 （2）事業の効率性 センターのもとで一元的に事業を実施することにより、県内の医師確保対策を効率的に推進することができる。	
その他		